

# とことこ通信

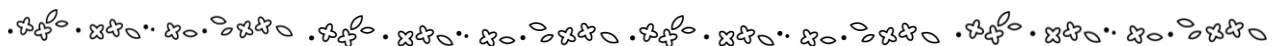
平成29年7月1日  
ときわ・ことり保育園

## ～「ありがとう」の言葉…一言～

先日、保育者が花壇に水を撒いていると、園庭で遊んでいた5歳児の男の子達が、興味津々で「先生、何しているの?」「お花に水をあげているの?」と近寄ってきました。一緒に水を撒くと、すぐジョウロの水はなくなってしまいました。そして再びジョウロへ水を汲むと、先ほどの男の子達が、「先生重い?」「手伝うよ。」などと言いながら下から持ち上げてくれたり、一緒に運んでくれたり…。

しかし小さなジョウロを何人かで運んでいるので当然、バランスが悪くなり、水が飛び散って、服を濡らしたりしておりましたが、それよりも手伝いたい気持ちが優先していたようです。

そんな子ども達の気持ちが嬉しく、「一緒に運んでくれてありがとう。」と伝えると、「先生一人じゃ重たいでしょう。」と誇らしげな笑顔を見せてくれました。



「ありがとう」と言われると、“嬉しい”、“認められた”、“自信が持てる”、“頑張れる”など…様々な心・気持ちが育まれます。

子どもは、何よりもお母さん、お父さんから言われると一番喜びます。優しく思いやりのある「ありがとう」を日々伝えていけるといいですね。



6月16日には、救急隊員の方による“救急講習会”で、心肺蘇生法やAED使用法・応急処置を学ぶ機会を設けました。

毎日の生活の中でも、誤飲やケガなど常に気をつけなければならないことなので、(特に乳幼児)救急隊員さんのご指導は身の引き締まる思いでした。

ニュースを観ると、命の尊さを問わない悲しい事件が多い中、園では誕生会や、交通安全教室等の行事を中心に、子ども達には“いのちの大切さ”を伝えています。

記: 萱 嶋

